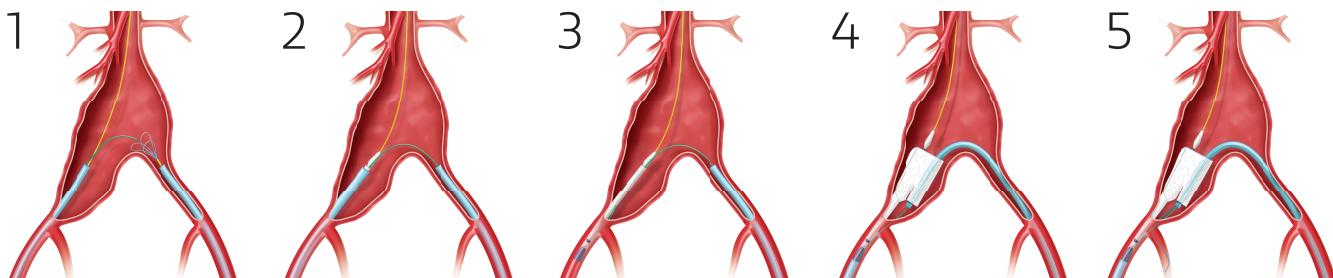


ゴア® エクスクルーダー® IBE
GORE® EXCLUDER®
Iliac Branch Endoprostheses

留置ステップ (IBEを対側に用いた場合)



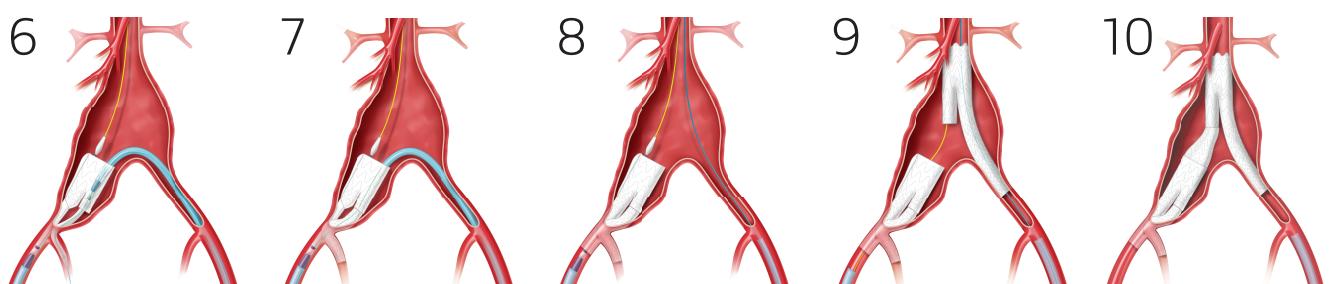
IBE留置側よりゴア®ドライシールフレックスイントロデューサーシース(以下ドライシールフレックスシース)の挿入後、軟質ガイドワイヤーとスネアを用いてブルスルーを作成する。

IBE留置側より、2本のガイドワイヤーに沿ってインターラックプランチ・コンポーネント(以下IBC)を進める。

IBE留置側のシースを引き下げ、インターラック・ゲート部を示すX線不透過マーカーリングが内腸骨動脈の起始部より中枢に位置するよう調整する。

プロキシマルディプロイメントノブ(写真③参照)を引き、IBC中枢側を展開する。反対側から12Fr×45cmのドライシールフレックスシースをインターラック・ゲート内まで進める。

内腸骨動脈へガイドワイヤーをカニュレーションする。中枢側のみ展開したIBCは左右90度以内のローションおよび内腸骨動脈へのカニュレーションを容易にするために末梢側へ移動させることができる。



インターラック・コンポーネント(以下IIC)を進め、IIC中枢側のマーカーとIBCのロングマークーの位置を合わせる(オーバーラップ)。

IICの展開を行い、接合部および内腸骨動脈へのランディング部分のバルーン圧着を行う。その後スルーワイヤーを抜去する。

ディスタルディプロイメントノブ(写真④参照)を引き、未展開のIBC同側末梢脚部(外腸骨動脈側部)を展開する。

12Fr×45cmドライシールフレックスシースからランクイブシラテラル・レッグ(以下メインボディー)留置に必要なシース(16Frもしくは18Fr)に交換する。メインボディーを展開する。

23mmもしくは27mmのコントララテラル・レッグを用いて、メインボディーとIBCを連結(ブリッジング)する。

STAGED DEPLOYMENT



Together, improving life



SIZING GUIDE

トランクイプシラテラル・レッグ(メインボディ)				
中枢側対象血管内径 (mm)	大動脈側直徑 (mm)	末梢側対象血管内径 (mm)	末梢側直徑 (mm)	ステントグラフト長 (cm)
19-21	23	10-11/12-13.5	12/14.5	12/14/16/18 16
22-23	26	10-11/12-13.5	12/14.5	12/14/16/18 16
24-26	28.5	10-11/12-13.5	12/14.5	12/14/16/18 18
27-29	31	12-13.5	14.5	13/15/17 18
30-32	35	12-13.5	14.5	14/16/18 18

イリアックプランチ・コンポーネント			
外腸骨動脈対象血管内径 (mm)	ステントグラフト末梢側直徑 (mm)	ステントグラフト長 (cm)	推奨シース (Fr)
6.5-9	10	10	16
10-11	12	10	16
12-13.5	14.5	10	16

インターナルイリアック・コンポーネント			
内腸骨動脈対象血管内径 (mm)	ステントグラフト末梢側直徑 (mm)	ステントグラフト長 (Fr x cm)	推奨シース (Fr x cm)
6.5-9	10	7	12 x 45
10-11	12	7	12 x 45
12-13.5	14.5	7	12 x 45

コントララテラル・レッグ* (ブリッジ用コントララテラル・レッグ)		
総腸骨動脈対象血管内径 (mm)	ステントグラフト末梢側直徑 (mm)	ステントグラフト長 (cm)
17-21.5	23	10/12/14
>21.5	27	10/12/14

IBE 治療側に必要な長さ

-IBEをC3トランクイプシラテラル・レッグの対側に用いた場合

トランクイプシラテラル・レッグ (emainボディ)	低位腎動脈から 内腸骨動脈分岐部までの長さ (cm)
23, 26, 28.5	16.5
31	17.5
35	18.5

IBE 治療側に必要な長さ

-IBEをC3トランクイプシラテラル・レッグの同側に用いた場合

メインボディ ステントグラフト直徑 (mm)	低位腎動脈から 内腸骨動脈分岐部までの長さ(cm)	低位腎動脈から 内腸骨動脈分岐部までの長さ(cm)
23 mmコントララテラル・レッグ使用時†	23 mmコントララテラル・レッグ使用時†	27 mmコントララテラル・レッグ使用時†‡
23, 26, 28.5	19.5	20.5
31	20.5	21.5
35	21.5	22.5

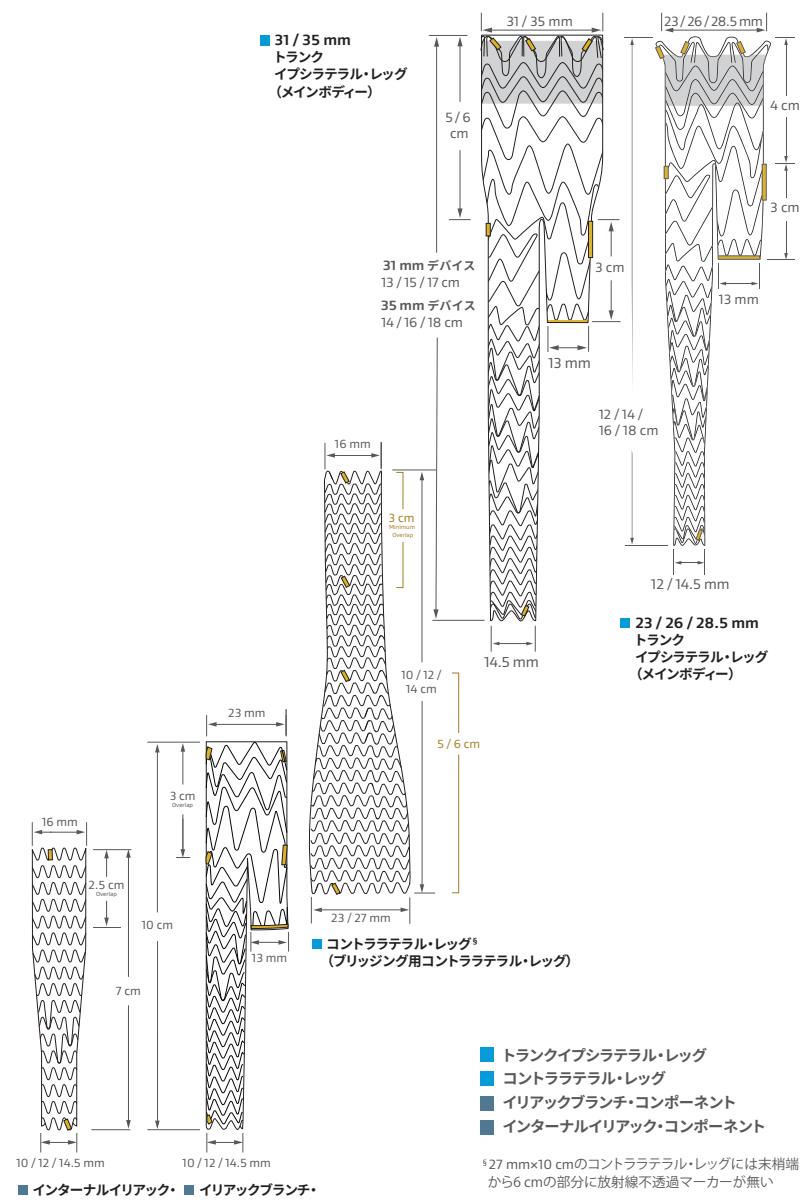
*コントララテラル・レッグをイリアック・エクステンダーとして使用する際にはゴア®エクスクリーダー®のマゼンタ・デバイスセレクションフォームを参照すること。

†末梢側5 cmのテバーパー形状部がメインボディとの接合部分に位置しないこと。

‡末梢側6 cmのテバーパー形状部がメインボディとの接合部分に位置しないこと。

Aortic Accessories

ゴア® ドライシール フレックス イントロデューサース	
品番	規格 (Fr x cm)
DSFI233	12 x 33
DSFI245	12 x 45
DSFI433	14 x 33
DSFI633	16 x 33
DSFI833	18 x 33



ゴア® MOB バルーンカテーテル

品番	拡張レンジ (mm)	バルーン長 [†] (cm)	カテーテル シャフト 有効長(cm)	適合 シース径 (Fr)	適合 ワイヤー径 (inch)	推奨する拡張溶液の使用量
MOB37	10-37	4	90	10 以上	0.035	10 2 20 7 30 16 37* 35

注意:

- ・ 使用の際には添付文書(電子化された添付文書)を参照すること。
- ・ 表の数値は推奨値であるため、バルーンの拡張はX線透視下で確認しながら行うこと。
- ・ バルーンを血管径よりも大きく拡張させないこと。
- ・ 最大バルーン拡張径(37 mm)を超えて拡張させないこと。
- ・ 最大バルーン拡張径(37 mm)に対して拡張溶液量48 mLを超えないこと。

†公称値

*最大バルーン拡張径

販売名: エクスクリーダー® Y字型ステントグラフトシステム 承認番号: 21900BZY00011000

販売名: ゴア® ドライシール フレックス イントロデューサース 承認番号: 22800BZX00461000

販売名: ゴア® MOB バルーンカテーテル 承認番号: 23000BZX00170000

ゴア、GORE、Together, improving life、エクスクリーダー、IBE、EXCLUDER、MOBおよび記載のデザイン(ロゴ)は、W. L. Gore & Associates の商標です。

© 2022 W. L. Gore & Associates, Inc. / 日本ゴア合同会社 22446601-JA MAY 2022

製造元 W. L. Gore & Associates, Inc.

製造販売元 日本ゴア合同会社
メディカル・プロダクツ・ディビジョン

〒108-0075 東京都港区港南1-8-15 Wビル
T 03 6746 2560 F 03 6746 2561 gore.co.jp

